

平成31年度地域猫活動推進事業の結果報告について

茨城県では、地域が取り組む地域猫活動を支援し、猫の不妊去勢手術費用の補助を行っています。

平成31年度は25市町村、71地域、835頭分の申請を受け、手術実績の報告があった753頭分（雄猫268頭、雌猫485頭）に不妊去勢手術費用の補助を行いました。

※地域猫活動は不妊去勢手術の徹底及び周辺美化など地域のルールに基づき、飼い主のいない猫を地域で飼育管理する活動です※

標記事業における実施後の効果として、実施した25市町村からの報告は以下のとおりです。

主な効果として、繁殖の防止・野良猫の数の減少(55.0%)、糞尿被害及び糞尿被害に関する苦情の減少(26.8%)、鳴き声及び鳴き声に関する苦情の減少(26.8%)等実質的な被害の改善があげられました。また、環境改善による苦情の減少(33.8%)と、付近住民への啓発効果(32.4%)が上位に上がりました。

<地域猫活動推進事業を実施したことによる主な効果（報告件数157件71地域）>

主な効果	報告数	効果の割合(%) (報告数/地域数)
繁殖の防止・野良猫の数の減少	39	54.9
環境改善による苦情の減少(※2)	24	33.8
近隣住民への啓発効果(※3)	23	32.4
糞尿被害及び糞尿被害に関する苦情の減少	19	26.8
鳴き声及び鳴き声に関する苦情の減少	19	26.8
発情期の雄猫同士の喧嘩の消失	14	19.7
手術実施猫の性格が穏やかになった	5	7.0
猫の交通事故の減少	4	5.6
その他(※4)	10	14.1

(※2) 環境の改善

- ・数が固定されて、餌場やトイレの管理が適切にできる。
- ・猫の数が減ったため、周辺の環境が良くなった。

(※3) 啓発効果

- ・近所の方たちが地域猫活動を理解してくれ、交流が円滑になった。
- ・飼い主の飼養意識が向上した。

(※4) その他

- ・家の中への侵入が無くなった。
- ・畑や庭が荒らされなくなった。